

島田市に環境大臣感謝状

◎環境課 ☎34・1122

東日本震災のがれきを受け入れた島田市に、石原伸晃環境相からの感謝状が贈呈されました。4月11日に環境省中部地方環境事務所の池田善一所長らが市役所を訪れ、染谷市長に感謝状を手渡ししました。池田所長は「がれきが処理できなければ復興作業も始められなかつた。島田市をはじめ全国で支援いただいたことに感謝したい」とあらためて謝辞を述べました。

広域処理は1都1府16県で91の自治体などが実施し、約62万トンが処理されました。市では、平成24年2月

1. 田代環境プラザ関係空間線量率測定結果

単位：マイクロシーベルト毎時

測定場所	地上高	H24.5/24(本格溶融)～現在
伊太小正門	1m	0.05～0.08
大津小正門	1m	0.05～0.08
上伊太公会堂	1m	0.05～0.09
なごみの里南側	1m	0.05～0.09
田代環境プラザ敷地境界4カ所	1m	0.05～0.09

\*測定は、平成24年度は毎週1回、以降は毎月1回実施

2. 一般廃棄物最終処分場の空間線量率測定結果

単位：マイクロシーベルト毎時

測定場所	地上高	H24.5/24(本格溶融)～現在
一般廃棄物最終処分場敷地境界4カ所	1m	0.05～0.09

\*測定は、毎週1回実施

3. 一般廃棄物最終処分場水の放射能濃度測定結果

単位：ベクレル毎リットル

試料名	検出下限値	H24.5/24(本格溶融)～現在
原水(水処理施設流入水)	8～13	不検出
放流水(水処理施設処理水)	8～13	不検出
観測井地下水	1～2	不検出
集水ピット地下水	1	不検出

\*測定は、毎月1回実施

\*分析結果が検出下限値未満であった場合は、「不検出」と表示

震災がれき受け入れに貢献

の試験焼却から翌年3月18日まで総量628・39トンを受け入れました。なる数値は検出されていません。



染谷市長に感謝状を手渡す池田所長(右)

3市1町広域観光連携協議会が発足

◎観光課 ☎36・7163

昨年度開催された志太地区3市の首長会議での合意を受け、島田市・藤枝市・焼津市・川根本町の観光担当者らで組織する「3市1町広域観光連携協議会」が、5月2日に発足しました。空港や高速道路を生かして志太地区に国内外からの観光客誘致を行い、来訪者数を増やすのが目的です。

同協議会では各市町の強みを共有するのが狙いです。今後は、海外向けには、教育旅行の需要が増えている台湾をメインターゲットに、国内向けには、首都圏と中京圏のほか、空港就航

先である九州や北海道からの誘客を図ります。

5月16日から20日にかけては、台湾・高雄市で開催された「旅行博」に各市町の担当者が派遣されました。



台湾「旅行博」での静岡県ブース

教育委員会からの提言「親子で感じよう本の魅力」

◎教育総務課 ☎46・5613

市教育委員会は「心の教育」を大切に、子どもたちの豊かな心の育ちを願っています。

その一環として、読書活動を大切にしています。そこで、読書を通して豊かな心の持ち主を育てたいと考え、次のとおり提案しました。

①家で一緒に読書をする機会をもちましよう。

◎ゲームやテレビと違って、文字には想像力を膨らませる力があります。本を読むきっかけづくりは、親子と一緒に読書をする効果的です。

◎ゲームやテレビから離れる時間を設けましょう。

②子どもの記念日をつくって本を渡してみませんか。

◎感動は心の栄養です。感動がいつまでも残る本がある子どもは幸せです。◎買った本でなくても、保護者が持っている本でも図書館で借りた本でもいいと思います。記念日など渡し方を工夫すれば、子どもにとって大切な一冊になります。

◎島田市では、「島田市子ども読書100選2014」を新たに決定しました。本を選ぶ時の参考にしてください。

## 島田市ステイプロモーション推進チームが発足

◎政策推進課 ☎36・7191

全国的に人口減少が進む中、市では本市の魅力を発掘・創出し「島田ブランド」を市内外に効果的に発信するため「ステイプロモーション推進チーム」を設置し、5月16日に辞令が交付されました。

メンバーは、公募で選ばれた30代から40代の職員で、女性を含む6人。毎月会議を開催し、現状分析や魅力の発掘方法、そしてPR方法について調査・検討し、「(仮称)ステイプロモーション戦略プラン」の策定を目指します。

染谷市長は「やりがいのある、楽

しく手ごたえのある仕事です。どんな切り口で島田市を日本一にしていくなか、皆さんの手にかかっています」とメンバーに期待の言葉を掛けました。



染谷市長から辞令を受け取るメンバーたち

## 旧片岡醸造所酒蔵に登録文化財プレートを伝達

◎文化課 ☎46・3446

金谷地区横岡新田にある「旧片岡醸造所酒蔵」が、4月に国の登録有形文化財に登録されました。これを受けて5月17日、濱田教育長から所有者の片岡安さんに、文化庁の登録証と登録有形文化財プレート(ブロンズ製)が伝達されました。

明治27年に建築された酒蔵は、総2階建ての「木造棧瓦葺寄棟造」と呼ばれる構造。柱の本数を最小限にして内部空間を広くした大型酒蔵の建築面積は約396㎡もあり、貴重な建造物と評価されています。



長い梁に支えられる内部



プレートを受け取る片岡さん(左)

## 市消防本部隊員が救急救命研修所を優秀な成績で卒業

◎消防本部 ☎37・7172

市では、救急救命士資格者の養成を目的に、平成8年から毎年職員を救急救命東京研修所に派遣しています。現在島田市消防本部では、29人の資格取得者が在籍しています。

平成25年度派遣職員の山口裕也隊員は、全国から集まった294人の参加者の中、在学中行われる各種試験において常に優秀な成績を修めました。これを讃え、救急救命東京研修所から島田市を含む3つの消防本部に、高度な救急救命処置の訓練用資器材が贈呈されました。

山口隊員は「市民の命を守るため、培った技能の向上に励みたい」と真剣な眼差しで語ってくれました。



市民病院で1カ月間の実地研修に励む山口さん

## 「地震や災害に強い水道」を目指して

◎水道課 ☎35・2107

市では、安全でおいしい水を安定して供給できるよう、24時間体制で維持管理にあたっています。また、大規模災害時においては、確実な応急給水を確保し、早期の復旧が実現できるよう、水道施設の計画的な更新や耐震化を進めています。

水道料金については、これまで民間委託による経費の削減と効率化を図りつつ、事業拡大を進めて収入の増益を図ることで、25年にわたって料金を据え置いてきました(消費税増税分を除く)。しかしながら近年は、人口減少

などにより給水量が年々減少し、水道事業会計は厳しい状況にあります。

一方、東海地震などの大規模災害に備えた対策や老朽化した施設の更新も急がれています。このため、学識経験者や市を代表する方々からなる「水道料金等審議会」を設置し、管渠の更新および耐震化を進めていくための適正な料金のあり方について検討を行っています。

今後も「地震や災害に強い水道」を目指し、より一層の経営の効率化とサービスの向上を図り、水道水の安定供給に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をお願いします。